

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『肝細胞癌に対する肝切除またはラジオ焼灼療法施行後の再発治療・長期予後に関する多施設共同後ろ向き観察研究 : SURF trial 付随研究』

研究機関名 東邦大学医療センター大森病院

研究責任者 消化器内科 助教 荻野 悠

【研究の目的】

全国規模の多施設共同研究(SURF-trial)へ登録された患者さんの情報を用いて、肝細胞がんの初期治療後に再発を来した場合の、治療内容とその長期予後を評価することを目的とします。SURF-trial というのは、肝細胞癌の初回治療として肝切除もしくはラジオ波焼灼療法(RFA)のどちらが優れているかを調べる無作為比較試験(RCT)もしくはコホート研究のことです。

肝細胞がん治療の問題点として再発率が高いとされています。肝がん再発時における治療方法とその長期経過について調査することにより、再発時の最適な治療方法についての知見を得ることができ、今後の肝細胞癌治療戦略を向上させることが可能であると考えています。また外来に通院されている間の腫瘍マーカーについても調査します。

SURF-trial に登録された約1100名の患者のうち、東邦大学医療センター大森病院消化器内科・消化器外科で登録されている方が調査対象となります。

【研究対象および方法】

この研究は、[東邦大学医療センター大森病院倫理委員会](#)の承認を得て実施するものです。

対象者: SURF-trial に登録された約1100名の患者のうち2015年10月～2020年10月までに東邦大学医療センター大森病院 消化器内科・消化器外科で、肝細胞癌の初回治療として肝切除もしくはラジオ波焼灼療法を行った方

方法: SURF-trial 研究ですでに登録されている情報を診療録(カルテ)より一部追加させていただき、定期的に調査させていただきます。とくに再発時の治療方法(肝切除、ラジオ波焼灼療法、肝動脈塞栓術)、腫瘍マーカーの推移を調査させていただきます。

【研究に用いられる試料・情報】

診療情報: 病歴、診療の治療歴、副作用等の発生状況、個人情報 等

【外部への試料・情報の提供】

診療情報を匿名化し、データセンターに登録します。あなたの個人情報が分からないように管理します。

【研究組織】

本付随研究代表施設名: 東京大学大学院医学系研究科臓器病態外科学 研究代表医師: 長谷川 潔 役職: 教授

分担研究施設: 東邦大学医療センター大森病院 研究代表医師: 荻野 悠 役職: 助教

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報
は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学
会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報
を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾
されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益に
なることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院 消化器内科

職位・氏名 助教 荻野 悠

電話 03-3762-4151 内線 6520